

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第713号（七月号）表紙

- ・夏の季語：「夏の灯」／子季語：夏灯・灯涼し（三夏・生活）
- ・来月号（八月号）の兼題です。



夏の夜の灯火。日中の暑さも灯ともし頃になると多少ともやわらいだ感じがするが、海浜や湖、川辺の水面に映える灯、周りの樹木の間から見える灯火などはひとしお涼しそうである。

有名俳人の句に以下のようなものがあります。

- ・古書店の名もなつかしき夏灯／片山由美子
- ・家人みな句ごころありて夏燈／飯田蛇笏
- ・生命線超えて生きたり夏灯／村越化石
- ・夏の灯の動くことなき田舎かな／日野草城
- ・夏の燈に橋のゆききも夜となりぬ／澄田江南
- ・灯の涼し手にずつしりと黒薩摩／片山由美子
- ・灯を消せば涼しき星や窓に入る／夏目漱石

☆前月の清記表に記載の中から選ばれた高得点句（5点以上）

- ・前月の清記表に記載された16名の112句のなかから互選で高得点を獲得した句です。
 - ・長閑さや草食む山羊も啼く牛も／緑汀・・・9点
 - ・兜織るスポーツ紙面子供の日／穂心・・・・・・7点
 - ・春日傘畳みてくぐる仁王門／温州・・・・・・6点
 - ・難聴の耳の饒舌春愁／碧亥・・・・・・5点
 - ・ペーロン祭海に挿しこむ櫂揃ふ／穂心・・・・・・5点
 - ・母の日や何もいらぬと笑ふ母／温州・・・・・・5点

*以下は4点句（惜しい！もう少しで5点）です。

- ・円盤のやふに麦藁帽投げぬ／甲舟
- ・立山に穂高に五月道通る／安男
- ・ごっつんと回る水車や麦の秋／勝

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の18名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

（文責：平林 温州）